



倉敷未来プロジェクトで作成した北前船シールアート



くらっこでのボディペインティングあそび



避難所のダンボールベッドを再利用したダンボール恐竜



大学祭のファッションショーで「Gパンだ」の衣装も披露



倉敷市立短期大学子どもの劇場（くらしき防災フェアにて）

目次

同窓会会長あいさつ、学長あいさつ	2
同窓生の近況・活躍、新入会員あいさつ	3
退職される先生方	4
担任から卒業生・修了生へのはなむけの言葉	5
学生と教職員の活躍	6
令和3年度学生の進路状況	7
新任教職員あいさつ、その他の異動、編集後記	8



発行／倉敷市立短期大学同窓会

倉敷市児島稗田町 160 番地

電話 (086) 473-1860 (代)

E-mail: info@kurashiki-cu.ac.jp

新たな場所で前を向いて



保育科第二部十五期生
同窓会会長 権田 政美

倉短同窓生の皆様お元気で過ご
してでしょうか。

コロナ禍も3年目となり、感染対策を行いな
がらの生活が当たり前になりましたが、保育学科の
皆さんは、実習やボランティアなど実際の保育の現
場に触れる機会が制限され、ご苦労が続いているこ
とと推察しています。

私事で恐縮ですが、今年度より、転勤になり勤務
園が変わりました。予測していなかった事態に心を
整理する間もなく着任し、初めての園での生活が始
まりました。慣れない通勤経路、初めて出会う子ど
も、保護者、職員等、地域や関係機関等さまざまな
人とのやりとり・・・。

経験年数30年を超えて何度か経験していた転勤
も、今回は精神的な不安が大きいものでした。

それでも、毎日のやりとりの中から人とのつな
がり芽生えてきました。毎朝子どもと保護者と挨拶
を交わし、園の職員と話し合いながら保育を行っ
ています。体力と記憶力の衰えに、失敗することも多
いのですが周囲の人に支えられて何とか年末を迎え
ている状況です。そんな中でうれしい出会いがあり
ました。それは、倉短同期生石原恵子さん(旧姓
浦さん)との再会です。仕事上の偶然の再会では
したが、児童発達支援事業所の責任者として、子ども
の支援計画について生き生きと語られる石原さんの姿
に一瞬、20歳代の倉短時代に戻ったような不思議
な気持ちになりました。転勤をマイナス面ばかり
捉えていた自分に気づき、新たな職場で初心に戻り、
前を向いて自分のすべきことをしていこうと思っ
ようになりました。

今年度倉短を卒業し社会人として一歩踏み出すこ
とに、不安と向き合う人もいることでしょう。在学
中、コロナ禍で思うようにいかなかったこともあ
ったと思いますが、ぜひその職を目指した志を思い起
こし、周りの人々とのつながりを前向きにとらえて
新しい世界で自分の居場所づくりをしていってほ
しいと思います。

コロナ禍からの活動再活性化へ



学長 安達 励 人

同窓生の皆さま、いかがお過
してでしょうか。

コロナ禍が続く中、本学は安全
対策を講じながら、教育研究や社
会活動の再活性化に取り組んでい
ます。令和4年3月には、対面型のオープンキャン
パスを2年半ぶりに開催し、多くの方々を学内にお
迎えすることができました。ありがたいことに、そ
の後3回のオープンキャンパスもコロナ前を思わせ
る賑わいでした。10月には、令和元年以来となる
大学祭を開きました。恒例のファッションショーや
子どもの劇場の公演、茶道部のおもてなしに加えて、
学生有志による企画もあり、大学祭の本格的な再興
に向けた第1歩を踏み出すことができました。地域
での実践活動も再開し、地元メディアに取り上げ
られました。「Gパンだ」の衣装制作や「夏フェス

KOJIMA どんかっか」うちわデザイン、
ウクライナリボンによる難民支援、く
らしき防災フェアへの参加、「わた
したちのSDGs」作品展覧会など、市民の方々に喜
んでいただけただけでなく、学生たちにも貴重な学
びの機会となったようです。詳細は、本誌および本
学ホームページをご覧ください。

学生の受け入れにおいては、近年の進学希望者の
増加に应运、令和5年度から専攻科の入学定員を
2倍に増やしたところです。これによって、専攻科
の存在感や魅力が高まることを期待しています。ま
た、現在、本学のキャンパスを児島市街地へ移転す
る計画が進行しています。創立の地である稗田の丘
を離れるのは寂しい限りですが、少子高齢化など社
会が大きく変化していく中で、本学の飛躍を通して
児島地区のまちづくりや倉敷全体の活性化にも貢献
できるよう、教職員一丸となって取り組んでまい
ります。計画が公表されれば、本誌でもご報告させ
ていただきます。

今後とも羽ばたき続ける本学を、どうぞ穏やかに
お見守りくださいますよう、お願い申し上げます。

同窓生の近況・活躍

医療法人誠和会 有料老人ホーム せいわ 森脇 隼太
倉敷市立短大保育学科を卒業後、障がい分野への興味から介護福祉士として働いています。保育の知識を活かし、人々の生活の支援を行い、業務に励む日々です。

仕事とは別に、学生時代のサークルやゼミのつながりから、ダンスや創作活動を社会人から始め、趣味を充実させています。ダンスでは、パフォーマンス集団「ズンチャチャ」にメンバー加入し、公演に向けて稽古にて鍛錬を積んでいます。創作活動では、キャンバスに絵を描いて絵画展へ出展したり、依頼されたイラストを制作したりと、さまざまな表現に挑戦しています。

30代となったいま、結婚を経て、子育て、転職と、これまでに色々な経験をしてきました。子どもが生まれてからは、私が学生の頃設立された「くらっこ」にも子どもと一緒に遊びに行っています。今冬、第二子も家族に加わる予定です。家族みんなそれぞれが自分を大事にできるように、仕事と趣味を頑張っていきたいと思います。 ※森脇さん所属のパフォーマンス集団「ズンチャチャ」は、2022年度福武教育文化賞を受賞されました。



渡邊 萌

倉短を卒業して8年になります。現在は自分のブランドを運営しながらフリーのデザイナーとしてTVや舞台等の衣装の製作をしています。

先日、長野県岡谷市で行われたオペラ「御柱」のお手伝いに行ってきました。御柱（または御柱祭）は日本三大奇祭のひとつで長野県諏訪地方で6年に一度行われる諏訪地方あげての一大行事です。オペラ「御柱」はこの御柱祭をモチーフにした地域オペラです。

普段はそれぞれの舞台のために依頼された衣装を製作し、ゲネプロで本番同様のステージを客席から観るのですが、今回は本番中に楽屋や舞台袖でキャストの着替えを補助する役回りでした。舞台袖での仕事は初めてで、大勢で舞台に走りこんでいく場面の直前にはキャスト達が円陣を組み士気を高める姿を見て胸が熱くなりました。プロの方と地域の方が力を合わせて作り上げる舞台は素晴らしく、このオペラを今後も受け継いでいきたいという思いが切に感じられました。

いつかは倉敷・児島地域にも貢献できるようなことがしたいと思いつつ今後も精進していく所存です。



同窓会への新入会



保育学科第39期生
水川 可菜

私達保育学科2年生は、入学後間もなくリモート授業を経験しましたが、翌年から対面授業へと移り変わり、実習も無事に終えることができました。私は、将来の夢について沢山悩んでいる時に経験した保育所実習で、保育士への憧れの気持ちを再び持つことができました。

時間をかけ葛藤した日々と、経験させていただいた実習があったからこそ、夢に対して曖昧ではっきりしなかった自分と向き合え、過去の選択を信じられるようになりました。

20歳を迎え成人した私達は、卒業後社会人として、目指してきた場所で新しい季節を迎えます。どれ程困難な状況でも自分を信じ、思い描く保育士像に近づけるよう、歩み続けたいと思います。



服飾美術学科第28期生
石上 雅子

私が大学生活の中で思い出に残っていることは大学祭のファッションショーです。私はその実行委員長となり3年ぶりにファッションショーを開催しました。3年ぶりということと前回開催した時の様子が分からなかったり、コロナ感染症対策のために色々と考えを配ったりと大変でした。それでもファッションショーをするうちに服について学びたいとより思うようになりました。

私は市立短期大学を卒業した後、さらに服飾について学ぶためにファッションコースのある大学に編入します。今、このようにしてやりたいことができるのはゼミの先生をはじめとした倉敷市立短期大学の先生方のおかげだと思っています。そのことに感謝をしながら、前に進んでいきたいです。

退職される先生方

「出会えたこと」

栗原 典子

私が倉敷市立短期大学に着任したのは真備地区の大水害の直後で、本学が創立50周年目の式典を行う年でした。悲しみと喜びの入り混じる中で記念式典は執り行われ、それから4年が矢のように過ぎました。初めてのジーンズウィーク、牛窓への宿泊研修、保育園や幼稚園への実習訪問など、人々とのつながりから多くを学んだ短大行事。しかしミズーリ州立大学カンザス校への幼児教育海外研修の学生引率を無事終えた翌年、COVID-19の襲来により途切れてしまった海外研修、挙行できなかった卒業式、初めてオンラインで実施した「こどもの森」や学内演習など、目まぐるしい変化の中で、学生たちとの日々はかけがえのない時間でした。特に意義深かったのはゼミの学生とのつながりです。毎週の会合と例年通りに開催された本学「ひろば」と稗田幼稚園でのハロウィン遊びは印象深いです。就職試験対策や、面接練習もしました。授業ではみられない素顔に触れ、時には厳しく、また他愛ない話をできた時間が愛おしいです。関わることでできた全ての学生の皆さんに感謝しています。ありがとうございました。

「倉短・わくわく造形」

金山 和彦

本学のわくわく絵画・工作の授業を担当させていただきました金山です。授業ではワークショップスタイルを用いて、皆さんの自由で創造的な発想を大切にしてきました。私は皆さんに対して「もっと上手に描いて」「それは無理だよ」など、口にしたことはありません。学生さんが叶えたい「色と形、素材感」を教室の隅々まで探し、とことん追求してきました。皆さんも、このような姿（やさしくて楽しいワクワクせんせい！）で、毎日の園生活において造形実践をしてくださっていることとおもいます。引き続き、子どもたちの「わくわく」のためによりしくお願いいたします。小学生の皆さんとの夏休み絵画・工作教室や保育者の先生方との実技研修での出会い、これもうれしかったです。かけがえのない時間でした。また、いつでも声をかけてください。倉短を応援しています。

「印象的な運動体験部の活動」

及川 直樹

令和4年9月末日をもちまして、倉敷市立短期大学を退職することとなりました。平成27年4月に赴任して以来、7年半にわたり、教職員、学生、そして地域の皆様から多大なるご支援やご協力を賜り、これまで教育・研究・社会活動にあたることができました。特に、保育学科や専攻科保育臨床専攻の学生の皆様には、授業やゼミ活動をはじめ、課外活動である運動体験部の活動においても、大変お世話になりました。運動体験部の活動を通して、学生の皆様の主体性や実行力と、地域の皆様の充実した笑顔を見ることができたことは、本学における最も印象的な経験の一つです。また、私を信頼し、足繁く研究室に通ってくれた教員や学生の皆様と過ごした時間は、大切な思い出としていつまでも心に残ることでしょう。皆様にとっても、私と関わることで得られた経験が、その後の人生において少しでも有意義なものとなっていたら幸いです。

今後は、遠方からではありますが、皆様のご多幸と倉敷市立短期大学のますますの発展を祈念しております。本当にありがとうございました。

「地域から学ぶこと」

唐澤 克樹

本年度三月をもって倉敷市立短期大学から淑徳大学へ転出することとなりました。

振り返ってみると、倉短へ来て、どのような授業ができるのか自問自答していた日々を思い出します。ゼミや授業で、児島の街に出向き、企業を訪問したり、街を歩いたりしました。机上の理論は大切ですが、地域から学ぶことの重要性を改めて考えるきっかけとなりました。児島のきれいな景色や街並み、繊維産業などがもつ地域資源の活用策について、学生と一緒にアイデアを出し合いました。学生たちの豊かな感性と独特の世界観には日々驚かされたものです。学生たちとの出会いを通じて、私自身も多くのことを学ばせていただいたように思えます。

最後になりますが、卒業生の皆様にはたいへんお世話になりました。心より厚く御礼申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。またどこかでお会いしましょう。

担任から今年度の卒業生・修了生へはなむけの言葉

保育学科担任 長檜 涼子

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。入学間もない頃、これから始まる短大生活に希望を膨らませ本学の門をくぐったことを覚えていますか。新しい環境で、それまでとは異なる生活に戸惑うこともあったでしょう。しかし、皆さんは持ち前の素直な心と行動力で、コロナ禍においても工夫をし、友と支えあいながら、充実した学校生活を送ることができました。また、実習を通して大きく成長できました。さあ、皆さんはまた新たな世界へと旅立ちます。タンポポの綿毛のように軽やかに、あなたが咲き誇れる場所を目指してください。そして、その場所で多くの人に幸せを分け与えられる人になってくださいね。またいつか、笑顔でお会いしましょう。

専攻科保育臨床専攻担任 小久保 圭一郎

思い起こせば、諸君が専攻科に進学されたのと同じ年に私もこの倉敷市立短期大学に赴任してきました。言ってみれば、諸君と私は同期生のようなものです。少なくとも私は勝手にそう感じながら、諸君

服飾美術学科担任 趙 採沃

桜が優しい微笑みを浮かべているこの季節、社会に一歩を踏み出す皆さんの胸中には、新たな出発への嬉しさと別れの寂しさが去来していることと思います。大学祭での学生有志によるダンス公演(写真)では、熱いダンスが青春のパワーを放ち、見る人に多くの勇気を与えてくれました。また、ウクライナの人々のためのチャリティー活動など、何事においても先頭に立ち、共に生きることの大切さを、身をもって示してくれたことを忘れません。

2年間の濃密な学びの中で培った、仲間を大事に



の成長を傍らで見てきました。本科から専攻科への進学は、期待と意欲に溢れたものであった一方、いろいろな悩みや苦勞もたくさん抱えてきたことでしょう。そんな諸君に、私は特別な思い入れがあります。同じように私にとっても、期待と意欲、悩みと苦勞が入り混じった二年間でしたから。修了おめでとうございます。これからもずっと応援しています。



児島駅前に表示したハロウィンボード

すること、共同作業などでの協調性はさらなる成長の土台になることを信じています。

皆さんの新たな出発を心よりお祝い申し上げます。

専攻科服飾美術専攻担任 趙 採沃

皆さんの新しい出発を心より嬉しく思います。本校での学びは自分自身の専門性や、責任感がある社会人としての素質を一層成長させたことと思います。

皆さんとの関わりは毎回、互いに学び合う時間であり、私自身を振り返る時間でもありました。コロナという状況にありながら、皆さんの手による卒業の開催や、特別研究発表会の熱いプレゼンテーションでは、研究に対する誠実さ、作品制作における真剣さや根気を見せて頂きました。皆さんは何事にも真面目であり、後輩を思う先輩であり、立派なリーダーでした。

皆さんの学びや実力を、社会にてさらに発揮してください。今後の活躍を心より応援しています。

学生と教職員の活躍

学生と教職員の活躍をご紹介します。スペースの都合で掲載は一部のみですが、全体は年度末に本学ウェブサイトでご覧いただける『年報』をご覧ください。

○学生の主な活躍

【表彰】

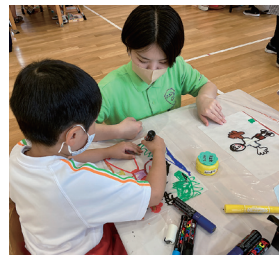
- ・令和3年度「全国保育士養成協議会会長賞」安藤結（現在 宇多津町保育士）
- ・「男女共同参画マンガ展」（倉敷市男女共同参画課）「優良賞」保育学科1年 宮本愛
- ・令和3年度卒業・修了制作展「倉敷市長賞」服飾美術専攻 本原将悟「詰襟学生服の快適性向上を目的とした提案」
- ・同「服飾美術学科賞」小縣瑠奈「帆布のショルダーバッグ」

【授業・ゼミ】

- ・夏フェスK O J I M A どんかつか F I N A L における保育園児の作品製作の補助（右上の写真）保育臨床専攻2年生、うちわデザイン 服飾美術学科1年生
- ・「倉敷支援学校との交流授業」浅野ゼミ、別府ゼミ、金山ゼミ
- ・「児島駅前ハロウィンボード制作」（児島商工会議所青年部主催）保育臨床専攻1年生
- ・「ミニ音楽会」三川ゼミ
- ・デニム学演習で「Gパンだ」の衣装制作 服飾美術学科2年生

【サークル・イベント等】

- ・ウクライナ難民支援 グッズ販売のための制作活動（リボンの作製）倉敷市立短期大学学生会



- ・坂本織物有限会社ウクライナ支援眞田紐パッケージデザイン「卵を育てるカワセミ」保育学科2年 高田姫歌
- ・織博2022バーチャル繊維産地ツアー・リアルツアーに参加 服飾美術学科、服飾美術専攻
- ・くらしき防災フェアに参加 倉敷市立短期大学子どもの劇場が「あめふりいけのあめあがり」を上演し、アマガエルの親子を通して、避難意識を啓発
- ・「わたしたちのSDGs」作品展覧会 服飾美術専攻2年生と卒業生が中国銀行児島支店に作品展示

○教職員の主な活躍

両学科の教員とも、公開講座や大学連携講座、幼稚園教諭免許状更新講習、保育士試験準備研修会をはじめとする各種講座・講演や、児童館や公民館、放課後児童クラブ等での研修・ワークショップ、高等学校等での出張授業、倉敷市を中心とする行政審議会・協議会・委員会等で、数多くの社会活動を活発に行いました。

【研究活動】

- ・服飾美術学科唐澤講師が「写真アルバム 倉敷・総社・早島の昭和」を執筆しました。倉敷、総社、早島の昭和を知る貴重な一冊です。

【社会貢献活動】

- ・保育学科三川准教授が「特別支援児保育アドバイザー」として倉敷市内の保育所などで保育教育職

が抱える対応について、また「音楽療法助言」として公的医療機関に勤務する音楽療法士等の介入患者との介入方法について、それぞれ助言を行いました。



アパレル総論の授業でジーンズストリート見学



卒業生の勤務先で卒業生と一緒に

令和3年度 倉敷市立短期大学 卒業者の進路状況報告

令和4年3月31日現在

1 就職状況一覧表

	保育学科	服飾美術学科	専攻科保育臨床専攻	専攻科服飾美術専攻	合計
卒業予定者数	54名(2)	46名(4)	7名(0)	3名(1)	110名(7)
就職内定者数	43名(2)	23名(0)	7名(0)	3名(1)	76名(3)
進学決定者数	11名(0)	13名(4)	0名(0)	0名(0)	24名(4)

※()=内男性

2 就職先一覧

①保育学科

公務員	中津川市／備前市／大津市／下関市
私立 幼稚園	(学)織田学園ずいよう幼稚園【愛知県大治町】
私立 保育所	(福)富田保育園・(株)アイグランそらいろ保育園・(福)庄保育園・(福)倉敷福祉事業会・(福)中野社会福祉協会・(福)みちる保育園・(福)杉の子第二保育園・(福)小ざくら乳児保育園・ちゃや保育園【倉敷市】／(福)たちばな上中野保育園・(福)白鳩福祉会・(福)第二福田保育園【岡山市】／都市型保育園ポポー【岡山県内】／(福)わかみや保育園【都窪郡】／(福)四恩の里【高松市】／(福)たらちね保育園【さぬき市】／(福)高木保育園【松山市】／(福)第二ナガ保育園【広島市】／(福)明光保育園【明石市】／(株)アルファコーポレーション【東京都】／(福)わおわお保育園【横浜市】
私立 認定こども園等	(福)大福こども園・(福)岡北学園【岡山市】／(福)青谷愛児園【神戸市】／(福)あかつき会【福山市】／(福)くまだこども園【鈴鹿市】／(福)恵泉保育園【洲本市】／(学)さざなみの森【東広島市】／(福)みどりこども園【姫路市】
公立【保育所・幼稚園及び認定こども園等の嘱託・臨時・講師】	四国中央市／宇多津町／西条市／三木町
施設	(福)クムレ②・(福)児童養護施設玉島学園・(福)四ツ葉会児童発達支援もくもく【倉敷市】／NPO法人子どもシェルターモモ【岡山市】

②服飾美術学科

公務員	倉敷市
服飾関連企業	明石被服興業(株)②・(株)ミチオショップ・堀江染工(株)・(株)R1000【倉敷市】／はるやま商事(株)・角南被服(有)箕島工場・(株)ベクトル【岡山市】／青山商事(株)【福山市】／(株)コムデギャルソン・(株)プロバインドジャパン【東京都】／(株)ワールドインダストリー・ファブリック・淡路技術研究所【洲本市】
その他の企業	ダイヤクリーニング(株)・水島信用金庫・三備ホンダ販売(株)・ネットトヨタ岡山(株)【倉敷市】／明星産商(株)【南国市】／(株)ザグザグ・内海産業(株)・(株)スタジオアイ／(株)CPコスメティクスCPフューチャー希夢(株)【岡山市】／イコン(株)【京都市】

③専攻科保育臨床専攻

公務員	倉敷市②／新居浜市／高知市
私立 保育所	(福)優和会やまのみ松崎保育園【福岡市】
私立 認定こども園等	(学)日吉学園【高知市】
公立【保育所及び幼稚園の嘱託・臨時・講師・児童指導員】	さぬき市

④専攻科服飾美術専攻

服飾関連企業	明石S.U.C.【倉敷市】
その他の企業	島根日野自動車(株)【松江市】
企業以外	公益財団法人岡田茂吉美術文化財団【熱海市】

3 進学先一覧

①保育学科

(11名)	倉敷市立短期大学⑦／くらしき作陽大学【倉敷市】／岡山高等歯科衛生専門学院【岡山市】／香川大学【高松市】／長野大学【上田市】
-------	---

②服飾美術学科

(13名)	倉敷市立短期大学⑦【倉敷市】／香川大学【高松市】／嵯峨美術大学【京都市】／神戸芸術工科大学【神戸市】／文化服装学院【東京都】／松山大学【松山市】／大阪市立デザイン教育研究所【大阪市】
-------	---

新任あいさつ



保育学科
准教授 浅野 泰昌

14年間務めた倉敷市内の大学を退職し、令和4年4月に本学に着任しました。令和3年度末にご退職された溝手恵里先生から受け継いで「倉敷市立短期大学子どもの劇場」の顧問も務めています。前任校でも学生と共に人形劇等の公演活動を行ってききましたが、コロナ禍が始まって以来、3密を避ける日々は、学生同士で切磋琢磨して作品をつくり子どもたちに届けるには大変厳しいものです。この間、子どもの劇場の伝統を守り、営みを繋いでくれた部員学生の苦労は一通りではなかったと思います。そして今、3年ぶりの卒業公演（2023年3月4・5日、倉敷市芸文館）に向けて準備を進めています。皆さま、彼らの門出の晴れ舞台にどうぞお越してください。



保育学科
講師 宮崎 正宇

今年度4月から、保育学科の教員として着任しました。着任時、本学の土手に植えられた桜

の花が満開な景色を見て、とても感動しました。そして、自然豊かな環境で学生と学び合えることが魅力的に思えました。その思いは、実際に学生と接してみても、確かな手ごたえを感じています。

私の専門領域は、社会福祉（子ども家庭福祉）です。社会福祉に関する科目と保育実習に関する科目を担当しています。着任前までは、社会福祉系大学院修了後、ある児童養護施設の職員として13年間働いていました。伝統のある本学で、現場経験を生かしながら、学生と共に学びを深めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局主幹 岡 賢二

令和4年4月の人事異動により、事務局に配属となりました。主な業務は、学則・規定等の管理、文部科学省等からの照会、外部評価の対応をしています。

今年は、大学祭実行委員会が中心となり大学祭が開催されたことが良かったと思います。コロナウイルス感染拡大防止のため、入場者を制限しながら、また久しぶりの開催のため準備から実行委員会の方は、多くの苦勞をしていましたが、無事に開催できました。来年度は、制限がない下での開催ができればと思います。

今後も本学の発展のため、皆様からのご指導を賜りながら業務に励みますので、どうぞよろしくお願いいたします。

□編集後記

大変お忙しい中、原稿をお寄せくださった方々にお礼申し上げます。倉短の情報をこれ



からも発信していきたいと思えますので、同窓会の皆様のご意見・ご感想や近況報告等お待ちしております。

□その他の異動（敬称略）

《退職》 令和4年3月31日付
教授.....溝手 恵里
保育士.....濱本 志保

《転出》 令和4年4月1日付
事務局長代理.....板谷 和俊
図書館司書.....清水 紀子
学生会会計年度任用職員.....高尾 千秋

《新任》 令和4年4月1日付
図書館司書.....小野 紀子
保育士.....本山 靖子
学生会会計年度任用職員.....大島 淑恵